

令和5年度 第2回 みんなの森 ぎふメディアコスモス運営委員会 審議概要

日 時：令和5年10月19日(木) 13:30～15:30

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席委員：11名 高橋委員長、川島副委員長、市来委員、伊藤委員、岩佐委員、大角委員、
蒲委員、鈴木委員、田代委員、出村委員、松枝委員
(欠席委員：2名 デュアー委員、北村委員)

傍聴者：なし

<議事概要（ぎふメディアコスモスの開館10周年に向けて）>

①来館者アンケート結果を踏まえた課題の整理

(委員からの意見)

- ・アンケート結果にあるように「メディアコスモスが好き」と回答した人が94%いることは開館して10年近くの成果であり、ポジティブに評価すべき。
- ・一方で、メディアコスモスを利用する好意的な人が回答したアンケートであり、そこに来ない人たち向けに、インターネット空間も活用しながら、メディアコスモスが持つコンテンツや考え方を伝えることが必要。
- ・Instagramの公式アカウント開設の準備を進めているとのことだが、興味が湧くような情報発信が重要であり、Instagramに詳しい職員をブレンに置くなどして、お役所的ではない面白いやり方を考えてほしい。
- ・メディアコスモスに求めるものを聞き取るのであれば、今回のアンケートに限らず、岐阜でディープな活動をする人、メディアコスモスの図書館に馴染みの深い人などに意見を聞いてみると、思いもよらないアイデアや要望が出てくる可能性がある。
- ・アンケート回答の中に、飲食店の充実を求める意見が多いが、それはメディアコスモスの広場にできるものをイメージしているのか、館内なのか、周辺エリアなのか深堀りして捉えられるとよい。
- ・Wi-Fiも含め、メディアコスモスの通信回線を強化してほしい。また、図書館のWi-Fi利用可能席の数も増やせるとよい。
- ・アンケート回答の中で9.4%の人が求めているメディアコスモスのオリジナルグッズの販売は、すぐにでもやるべきだと思う。
- ・一般的に空調等の設備は10年が経過すると修繕や更新が必要となってくるし、ギャラリーの展示台やスポットライトなどの備品類の充実についても利用者から要望が出てくると思われるため、10周年に向けて早い段階からその準備を進めるべき。
- ・高齢化が進み、耳が聞こえにくい方が多い中、講座などで話した言葉が字幕で視覚的に見られる音声認識システムを導入することを検討してほしい。
- ・メディアコスモスを観光のハブとできるよう、ぎふ古今（シビックプライドプレイス）の活用を含め、観光や飲食店の案内機能を持たせる施策があるとよい。

②周年記念事業、今後の事業についての意見交換

(委員からの意見)

- ・まずは 20 年後にメディアコスモスとしてどうありたいか、大目標を決め、それに向けたアクションプランを組むことが肝要。
- ・小学生や中学生くらいの子どもたちとも一緒にメディアコスモスの場所の使い方を考え、20 年後どうありたいかという将来像をつくるプロジェクトがあるとよい。
- ・メディアコスモスで 10 代の子どもたちが小さなチャレンジ、または貢献できる仕組みがあると、彼らが 20 代になった時にも関わり続けてくれると思う。
- ・岐阜市から出ていく 20 代が多いが、メディアコスモスで過ごす 10 代の子どもたちが勉強するだけでなく、もっとめちゃくちゃに遊べる環境があり、身近にいるカッコいい大人が見えたり、この場所で過ごす幸せに気づく子どもたちを増やすことで、社会の構造が変わってほしい。
- ・例えばアメリカでは企業が資金面でサポートして公共施設を運営するやり方もあり、行政単独でメディアコスモスを運営する構造を見直す機会があってもよいと思う。
- ・メディアコスモスの置かれた状況は極めてポジティブだと考えるが、周りの環境は今後とも変化し、他の地域・場所の取組と重なってくる部分、差別化しなくてはならない部分も出てくると思われるため、広域のエリアマネジメントとしてのメディアコスモスの位置づけを考えていくとよい。
- ・メディアコスモスに期待されるミッションは中心市街地の活性化とシビックプライドの醸成にあると認識しており、この 10 年間でそのミッションに対してどう成果を上げたのか、今後 10 年間に世の中にどういう変化があって、それによって取組をどう改善する必要があるのかを 10 年の節目で考えなければいけない。
- ・コミュニティが崩壊しつつある現代社会において、NPO などを含めた小さなグループの人を核としながらメディアコスモスの中でコミュニティを再生し、地域づくりの拠点を目指してほしい。
- ・シビックプライドの次にあるのは、これまでメディアコスモスが構築してきた人格や価値観（オープンである、実験的であること等）を岐阜市の市民協働政策に広げていくことだと思う。